

大学番号：私307

注3

[平成26年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

認可

徳島文理大学大学院 看護学研究科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 村崎学園
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部

職名・氏名 部長 カマダ 鎌田 シンジウ 真城

電話番号 088-622-0097

（夜間） 0885-32-1219

F A X 088-626-2998

e-mail kikaku1@tokushima.bunri-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人村崎学園

(2) 大学名

徳島文理大学大学院

(3) 大学の位置

〒770-8514

徳島県徳島市山城町西浜傍示180番地

〒770-8560

徳島県徳島市寺島本町東一丁目八番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ムラサキ マサト) 村崎 正人 (平成元年5月)		
学長	(キリノ ユタカ) 桐野 豊 (平成18年4月)		
研究科長	(タカハシ (タシロ) テルコ) 高橋(田代) 照子 (平成26年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)
平成27年度に報告する内容 → (27)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の博士後期課程の場合(平成27年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
看護学研究科 看護学専攻(修士課程) 修士(看護学)	2年	7人	14人	基礎となる学部等 保健福祉学部看護学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(6)

区分	報告年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	7 (-) [-]	- (-) [-]	7 (-) [-]	- (-) [-]	0.92 倍	-			
志願者数	7 (7) [-]	- (-) [-]	6 (6) [-]	- (-) [-]					
受験者数	7 (7) [-]	- (-) [-]	6 (6) [-]	- (-) [-]					
合格者数	7 (7) [-]	- (-) [-]	6 (6) [-]	- (-) [-]					
B 入学者数	7 (7) [-]	- (-) [-]	6 (6) [-]	- (-) [-]					
入学定員超過率 B/A	1.00		0.85						

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 7	[-] (-) -	[-] (-) 6	[-] (-) -			
2年次	/		[-] (-) 7	[-] (-) -			
3年次			/				
計	[-] (-) 7	[-] (-) -			[-] (-) 13	[-] (-) -	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	7人	0人	平成26年度	0人	0人		0.0%
			平成27年度	0人	0人		
平成27年度 入学者	6人	0人	平成27年度	0人	0人		0.0%
合計	13人	0人					0.0%

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<看護学研究科 看護学専攻（修士課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	看護理論	1前	2			2						
	看護倫理	1前	2									兼1
	看護研究Ⅰ(概論)	1前	2			2						
	看護研究Ⅱ(統計)	1後		2								兼1
	看護管理論	1後		2		1	1					兼1
	看護教育論	1前		2		2						
	コンサルテーション論	1後		2								兼1
	アドヴァンスト・フィジカルアセスメント	1後		2		2						兼1
	チーム医療論	1後		2		2						兼2
専門科目 基盤機能看護学	<理論看護学>											
	理論看護学特論	1・2前		2		2						
	理論看護学演習Ⅰ	1前		2		2						
	理論看護学演習Ⅱ	1後		2		2						
	理論看護学特別研究	2通		8		2						
	<看護管理学>											
	看護管理学特論	1・2前		2		1	1					兼1
	看護管理学演習Ⅰ	1前		2		1	2					
	看護管理学演習Ⅱ	1後		2		1	2					
	看護管理学特別研究	2通		8		1	2					
	<看護教育学>											
	看護教育学特論	1・2前		2		1	2					
看護教育学演習Ⅰ	1前		2		1	2						
看護教育学演習Ⅱ	1後		2		1	2						
看護教育学特別研究	2通		8		1	2						

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門科目 実践看護学	<療養支援看護学>											
	療養支援看護学特論(臨床)	1前		2			4 2					
	療養支援看護学演習Ⅰ(臨床)	1前		2			4 2					
	療養支援看護学演習Ⅱ(臨床)	1後		2			4 2					
	療養支援看護学特論(地域・在宅)	1前		2			3 2	1				
	療養支援看護学演習Ⅰ(地域・在宅)	1前		2			3 2	1				
	療養支援看護学演習Ⅱ(地域・在宅)	1後		2			3 2	1				
	療養支援看護学特別研究	2通		8			6 3	1				
	<母子健康看護学>											
	母子健康看護学特論	1前		2			1	4 3				
	母子健康看護学演習Ⅰ	1前		2			3	4 3				
	母子健康看護学演習Ⅱ	1後		2			3	4 3				
	母子健康看護学特別研究	2通		8			3	4 3				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 29	科目 0	科目 32	科目 3	科目 29	科目 0	科目 32	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
該当なし						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
該当なし						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし						
------	--	--	--	--	--	--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ol style="list-style-type: none">1. 「看護学研究科委員会」を設置した。2. 「看護学研究科教務委員会」を設置した。3. 「看護学研究科FD委員会」を設置した。4. 「看護学研究科自己点検・自己評価委員会」を設置した。5. 「大学院看護学研究科博士後期課程設置準備委員会」を設置した。 <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 「看護学研究科委員会」 4月から毎月1回(第2火曜日)に委員会を開催した(8月は休み)。 「臨時看護学研究科委員会」を1回開催した。 参加者は全員17名(100%)(病欠などの委任状を含む)であった。2. 「看護学研究科教務委員会」 4月から毎月1回開催した。 「臨時看護学研究科教務委員会」を5回開催した。 参加者は委員全員(3名)であった。 議題により、適宜研究科長及び適任者(教授)を招聘した。3. 「看護学研究科FD委員会」 4月から毎月1回全学委員会に出席した。 参加者は、FD委員代表者(1名)であった。4. 「看護学研究科自己点検・自己評価委員会」 4月から1回開催した。 参加者は、自己点検・自己評価委員(2名)であった。5. 「大学院看護学研究科博士後期課程設置準備委員会」 4月から毎月1回及び臨時に複数回開催した 参加者は、委員(3名)であった。 審議内容によっては事務職員2～3名が参加した。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none">1. 「看護学研究科委員会」<ol style="list-style-type: none">① 研究科に関する規則等の制定、改廃に関する事項② 教育課程及び履修基準に関する事項③ 授業や試験に関する事項④ 研究の指導及び課程修了の認定に関する事項⑤ 学位論文の審査及び学位に関する事項⑥ 学生の在籍に関する事項⑦ 研究科の担当教員に関する事項⑧ 学生の賞罰、厚生補導及びその身分に関する事項⑨ その他研究科の教育及び研究に関する事項2. 「看護学研究科教務委員会」<ol style="list-style-type: none">① 教育課程や履修及び授業や試験に関する事項② 新入生及び進級ガイダンスに関する事項③ 履修の手引き及び学生生活の手引きに関する事項④ 授業担当者(特に外部の非常勤講師)との調整に関する事項⑤ 学位論文の研究計画書に関する倫理審査受審前審査と指導に関する事項

- ⑥ 学位論文の審査及び課程修了の認定に関する事項
- ⑦ その他看護学研究科の教育及び研究に関する事項

3. 「看護学研究科FD委員会」

- ① FD研究部会に関する事項
- ② FDに関する事項
- ③ FD委員会活動の評価に関する事項
- ④ その他FDに関する事項

4. 「看護学研究科自己点検・自己評価委員会」

- ① 自己点検・評価の基本方針及び実施計画の決定に関する事項
- ② 自己点検・評価報告書の作成並びに公表に関する事項
- ③ 自己点検・評価の結果に基づく改善に関する事項
- ④ 第三者機関による認証評価に関する事項
- ⑤ その他自己点検・評価に関する事項

5. 「大学院看護学研究科博士後期課程設置準備委員会」

- ① 教育課程等の概要の作成
- ② 授業科目の概要の作成
- ③ 授業計画(シラバス)の作成
- ④ 学則の改訂(博士後期課程に関する事項)
- ⑤ 研究科委員会規則の策定
- ⑥ 設置の趣旨等の策定(設置の必要性、特色、教育課程編成及び教員組織、研究指導方法及び修了要件、博士論文審査体制及び博士論文公開審査会、博士論文審査基準、修了要件、入学者の選抜、大学院設置基準第14条による教育方法の実施、情報の公開、教員の資質の維持向上の方策等)
- ⑦ 学生の確保の見通し(入り口調査、過去10年間の大学への入学志願者状況、人材需要の動向：出口調査)
- ⑧ その他、博士後期課程の設置に必要な事項

② 実施状況

1. 「看護学研究科委員会」

a 実施内容

入学生紹介(7名)、履修の手引きの説明、学生生活のオリエンテーション、平成27年度入試日程、博士課程設立準備委員会設置、研究科教務委員会設置、日・韓看護学修士学生合同研修会、研究科ポリシー、研究科予算、自己点検・自己評価委員会設置、大学院生の倫理審査に関する事項、平成27年度入学試験合格者判定等について審議した。

b 実施方法

構成委員が会議室に集合して議題について議論し、審議事項を決議した。報告事項を報告した。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

毎月1回定例の看護学研究科委員会を開催した。臨時の研究科委員会を1回開催した。

4月1日、5月20日、6月10日、7月15日、9月9日、10月14日、11月11日、12月11日、1月13日、2月10日、2月24日(臨時)、3月12日

委員の参加状況は全員(100%：委任状含む)であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

計画のとおり授業は実施されているが、学生の要望を受け集中講義にするなど時間割の調整を承認した。

2. 「看護学研究科教務委員会」

a 実施内容

教育課程の作成、時間割作成、履修の手引き・学生生活の手引き作成、修士論文研究計画書の研究倫理審査委員会前の予備審査のフォーマットの作成、修士論文の研究計画書に関する研究倫理審査前審査と指導等について審議した。

b 実施方法

委員が指定の場所に集合して議題について審議し、審議事項を決議した。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

毎月1回定例の看護学研究科教務委員会を開催した。臨時の教務委員会を4回開催した。

4月9日、5月20日、6月10日、7月15日、9月9日、10月14日、11月11日、12月11日、1月13日、2月3日～2月6日の4日間(臨時)、2月10日、3月12日

委員の参加状況は全員(100%)であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

計画のとおり授業は実施されているが、学生の要望を受け集中講義にするなど時間割の調整を行った。

3. 「看護学研究科FD委員会」

a 実施内容

- ① 全体会議：研修会、講演会の企画と運営、授業設計ワークショップ、授業改善、卒業生満足度調査、FD研究部会活動報告書の作成、SPOD主催遠隔配信講義、SPODフォーラムなど
(注)SPOD: Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education
- ② FD研修会 1. 学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？
FD研修会 2. 反転授業について一山梨大学での取り組みを中心に
- ③ 生命倫理と日本の政府による倫理指針の策定(CITI Japan On スクリーン eラーニング)
- ④ 看護学研究科独自のFD
(1) 英文講読会
(2) 日・韓看護学生修士学生合同研修会

b 実施方法

- ① 全体会議：初回(4月)は徳島キャンパスで対面会議、5月～2月は徳島キャンパスと香川キャンパスとのテレビ会議、3月は、香川キャンパスにて対面会議を行った。
- ② FD研修会 1. 学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？
日時：平成26年9月11日(木)
講師：岩中貴裕氏(香川大学大学教育開発センター)
実際：講義の中でワークショップを組み込む体験型研修(シンク ペア シェア)
FD研修会 2. 反転授業について一山梨大学での取り組みを中心に
日時：平成27年2月20日(金)
講師：塙 雅典氏(山梨大学工学部教授)
徳島キャンパス25号館4階スタジオ型講義室
香川キャンパス図書館3階AVホール(徳島キャンパスより遠隔配信)
実際：講義の中で山梨大学の反転授業の実例を紹介、DVDの作り方等の質疑応答、
本学教員の反転授業を紹介して共有した。
- ③ 生命倫理と日本の政府による倫理指針の策定(CITI Japan On スクリーン eラーニング)
- ④ 看護学研究科独自のFD
(1) 英文講読会：9月3日、9月17日、10月2日、10月16日、10月30日、11月13日、11月27日、12月11日
3号館7階大学院生ゼミ室にて18:30～20:00(90分間)英文講読を通して英文読解力の向上を図った。
講師：高橋照子研究科長
(2) 日・韓看護学生修士学生合同研修会
韓国梨花女子大学校看護大学院生12人と徳島文理大学の大学院生及び教員が意見交換
韓国プサン大学校看護大学院生7人と徳島文理大学大学院生と教員が意見交換
徳島文理大学大学院看護学研究科修士課程学生 7人
徳島文理大学大学院看護学研究科担当者：研究科長 高橋照子、教授 小田正枝、尹 玉鍾

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ① 全体会議：4月21日(63回)、5月27日(64回)、6月25日(65回)、9月2日(66回)、10月20日(67回)、
11月25日(68回)、11月25日(69回)、12月25日(69回)、1月27日(70回)、3月10日(71回)の計10回
参加者：委員全員(100%委任状況含む)。
- ② FD研修会 1. 学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？
日時：平成26年9月11日(木)
看護学研究科教員4名参加
FD研修会 2. 反転授業について一山梨大学での取り組みを中心に
日時：平成27年2月20日(金)
看護学研究科教員4名参加
- ③ 生命倫理と日本の政府による倫理指針の策定(CITI Japan On スクリーン eラーニング)
8月中に各自eラーニングを受講して研究的観点から倫理的能力を高めた。
看護学研究科教員全員参加
- ④ 看護学研究科独自のFD
(1) 英文講読会：9月3日、9月17日、10月2日、10月16日、10月30日、11月13日、11月27日、12月11日
3号館7階大学院生ゼミ室にて18:30～20:00(90分間)英文講読を通して英文読解力の向上を図った。
講師：高橋照子研究科長
4～5名の看護学研究科教員が参加
(2) 日・韓看護学生修士学生合同研修会
韓国梨花女子大学校看護大学院生12人と徳島文理大学の大学院生及び教員が意見交換を行った。
韓国プサン大学校看護大学院生7人と徳島文理大学大学院生と教員が意見交換を行った。
徳島文理大学大学院看護学研究科修士課程学生 7人
徳島文理大学大学院看護学研究科担当者：研究科長 高橋照子、教授 小田正枝、尹 玉鍾

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研修会を踏まえ、アクティブラーニングを意識した授業を展開するようになった。

4. 「看護学研究科自己点検・自己評価委員会」

a 実施内容

自己点検・自己評価研修会

b 実施方法

講演：評価基準と自己点検評価書の作成について

講師：陸 鐘旻(ロー ソンミン)氏

(公益財団法人日本古藤教育評価機構評価事業部次長・評価研究部次長)

c 開催状況(教員の参加状況含む)

日時：平成27年3月23日(月)14:00~16:00

会場：国際会議場(21号館2階)

参加者：全員(100%委任状含む)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

自己点検・自己評価の内容とスケジュールの検討を開始した。

「教育・研究年報」の作成について検討を開始した。

5. 「大学院看護学研究科博士後期課程設置準備委員会」

a 実施内容

博士後期課程設置に向けて、設置の必要性、教育課程、教員組織、入り口調査、出口調査などを行った。

b 実施方法

委員が定期的、集中的に集合し、意見交換を行いながら、資料作成を行った。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

委員は全員(100%)であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

博士後期課程の準備段階にあるため、修士課程との連動制を検討している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

大学院生は7人であり、本学では受講生10人未満は実施しないことになっているため実施していない。

大学院の教育全体について授業評価アンケートを行い、満足度や改善点を見出す必要があり検討中である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

検討中である。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

年度末に評価する予定であったが、修士1期生しかいないこともあり、実施していない。しかし、本学では平成29年に認証評価を受審する予定であるため、自己点検・評価を実施する委員会を立ち上げ、方策(項目)などをこれから検討する予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

検討中

b 公表方法

検討中

③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度もしくは平成29年度に財団法人日本高等教育評価機構の評価を受けるべく、学内で検討中

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成27年度中)